

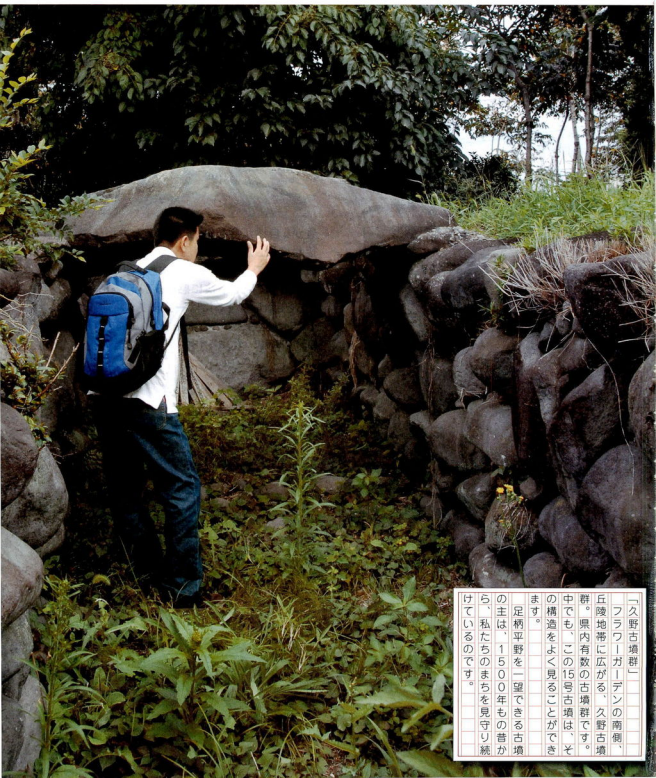
広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

10 2007
OCT
/1日号



「久野古墳群」
フラワーガーデンの南側、
丘陵地帯に広がる、久野古墳
群。県内有数の古墳群です。
中でも、この15号古墳は、そ
の構造をよく見ることができ
ます。
足柄平野を一望できる古墳
の主は、1500年もの昔か
ら、私たちのまちを見守り続
けているのです。



みんなの力で まちは変わる



矢作小学校そばで咲き誇るひまわり。地域のかたの心遣いが目を惹かせ、環境への意識を高めます。



街頭ポイ捨てキャンペーンのようす。きれいな街を目指し、のびりを持ってごみを拾い集めています。

豊かな自然が今なお残る、わがまち小田原。後世に残したいと、原風景百選に選ばれた景色がある一方で、自然の中やまちを歩いていると、ごみが落ちていて不快に感じることはありませんか？ まちをきれいにするには一人一人の心掛けから。そこで、立ち上がった人たちがいます。

◎環境保護課 ☎33-1486

実は犯罪！ポイ捨て

「不法投棄」といえば、そのイメージから山林など、人けのない自然豊かなところへのごみ捨てと考えがち。

しかし、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻など日常的なごみを道端に捨てる、ちよつとした「ポイ捨て」も実はれつととした不法投棄で犯罪。取り締まりの対象となるのです。

特に、ごみの少ない場所への投げ捨ては、さらなるポイ捨てを誘います。

市でも、このような不法投棄を防止するため、職員や委託業者がパトロールをしています。その効果もあり、市内の不法投棄は減ってはいるものの、なくなることはないのです。

そこで、地域の中からポイ捨て防止への取り組みが始まりました。

自治会も動き出す

まず、取り組みを始めたのは下府中地区自治会連合会。昨年度から、地域による「きれいなまちづくり」の一環として、街頭ポイ捨て防止キャンペーンを頭めました。

7月からは、国府津地区自治会連合会も加わり、駅前や歩道など、目につきやすいところを歩きながらごみを拾っています。

ポイ捨てを減らすには、まず捨てられているごみを減らすこと、そして、ポイ捨ては犯罪という意識を広めることが重要です。

自治会という身近な単位の団体も、きれいなまちの実現へ向けた一歩を踏み出し始めているのです。

登録制度で支援も

このような活動をしているのは、自治会だけではなく、市では、清掃や緑化など、きれいな環境を作り出すボランティア活動をを行う団体や市民のかたを支援するため、環境美化活動登録制度をスタートしました。

これまでもボランティアには、専用のごみ袋を渡したり、清掃後に個別にごみを回収したりするなどの支援をしています。この制度に登録すると、数の制限はあるものの、ごみばさみや



ちらかつているごみは
見ていられない

福岡美代子さん(写真右)

「多 くのごみであふれている酒匂川と海岸が見えられなかった。幸い、向山さんなど近所のかたが手伝ってくれたから」とごみ拾いを始めた福岡さん。

環境美化活動登録制度を利用しての1人です。今でも毎日海岸清掃を続けているそうです。



「家業もあるから、早朝など限られた時間で、長くはできないけど、やっぱり毎日見えないごみが増えるしね」と。

福岡さんたちの活躍もあって、付近のごみは減少しているといえます。やはり、きれいな場所には新たなごみが捨てにくいというところなのでしょう。「やるからには中途半端は嫌。拾ったごみはすぐにしっかりと分別もしていますよ。ごみ拾いは気分転換もできるし、体の調子もよくなったかな」と、事もなげに話してくれました。その行動が「きれいなまち」につながっていくのです。

自分たちでも
まちをきれいに

伊澤二三雄さん

(国府津地区自治会連合会会長)

「きれいになっていくところにごみは捨てにくいからね。」

下府中地区が始めた街頭ポイ捨て防止キャンペーンに、今年から加わった国府津地区。巡礼街道や国道1号線など、交通量の比較的多い道を中心に、のびりを掲げながらごみを拾い歩いています。



国府津地区では10年以上前から独自に清掃活動を行い、防犯パトロールのときにもごみ拾いをしているの、キャンペーンにも自然に参加できたそうです。「ポイ捨てを減らすには、呼びかけから。回覧を通して美化活動をお願いしているので、国府津は環境への意識が高いと思うよ。地域の工場やお店も協力してくれれば、まちをきれいにするのは任んでいる人間の役目だからね。」

今年度のキャンペーンはあと2回。その力強い言葉から、きれいになったまちが見えるかのようでした。

腕章の貸し出しといったさらなる支援も受けられるので

す。

現在の登録はまだ



ですが、活動の輪は着実に大きくなっているのです。

みんなできれいなまちを

このように、行政はもちろんのこと、身近な地域や団体、そして個人により「ごみの少ないきれいなまち」を目指した取り組みが進んでいます。

11月11日は全市一斉清掃の日

自治会総連合では、市と協力して毎年11月の第2日曜日を全市一斉清掃の日としています。皆さんの家の周りをきれいにさせていただき、回覧などで呼びかけています。市民の皆さん一人一人が、家の回りがあるごみを拾うことにより街並みがきれいになり、ポイ捨て(不法投棄)しにくい環境になりますので、ご協力をお願いします。

小田原駅西口に喫煙場所を設置

環境美化促進重点地区の小田原駅周辺は、吸い殻などのポイ捨てを禁止しています。そこで、7月1日に設置した小田原駅東口に続き、今回は西口に喫煙場所を設けました。ポイ捨ては絶対にやめましょう。



喫煙所 小田原駅東口

場所 小田原駅西口交番前

「まちの環境なんて、自分たちよつとごみを捨てるくらいではそんなに悪くならないよ」と思うかもしれません。しかし、そう考えている人が、1人だけではなく、たくさんいたら、そのほんの少しのごみが、多くのごみになってしまいます。そして、ごみが捨てられていくところなら、「捨てても分らないか」とさらにごみを呼び込んでしまうという悪循環を起してしまいます。皆さんも、このような取り組みをされているかたがいることを忘れずに、決められた場所以外のごみ捨てはやめてください。みんなで「きれいなまち(小田原)」を作っていきましょう。



Refuse
拒否



Repair
修理



Recycle
再資源化



Reduce
発生抑制



Reuse
再使用

5つの「R」で ごみ分別の徹底を!!

—ライフスタイルを見直そう—

毎年10月は、「ごみの発生抑制 (Reduce)」、「再使用 (Reuse)」、「再資源化 (Recycle)」の3つの言葉の頭文字を取って、「3R推進月間」です。

市では、この3つの取り組みに「ごみの拒否 (Refuse)」、「修理 (Repair)」の2つのRを加えた5Rを推進しています。

◎環境政策課 ☎33-1475

さらなるごみの減量を

燃せるごみの排出量は、平成16年度から3年連続で減少しました。しかし、目標の5万5千トン以上には、まだ3千トン以上も減らす必要があります。燃せるごみの中には、紙やプラスチック容器など資源としてリサイクルできるものが多く含まれています。環境を守るため、ごみの分別を徹底してください。

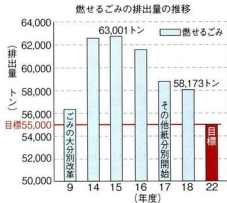
なお、平成18年度と19年度の4月から8月までの一世帯当たりのごみの排出量を比較すると、削減率が最も高いのは十字地区、次いで東富水地区、足柄地区です。

捨てないで、紙も資源です

紙類の分別は新聞紙・雑紙・紙バック・段ボール・その他紙の5種類です。

汚れている紙以外はリサイクルも可能です。燃せるごみの減量にもつながるので、紙も分別を徹底してください。

なお、紙類は、大雨・強風でなければ雨の日にも出せます。ただし、布類は、濡れるとリサイクルができなくなるので、次の回収日に出してください。



【一般廃棄物処理基本計画案への意見募集】

市では今年、さらなるごみの減量化・資源化を推進し、循環型社会をつくるため「一般廃棄物処理基本計画」の改訂作業を進めています。10月26日(金)まで(必着)に、市役所、支所・連絡所、マロニエ、いすみなどにある「一般廃棄物処理基本計画案」にある意見様式に、意見・住所・氏名を書いて郵送またはファクスで。Eメールの場合は、タイトルを「一般廃棄物処理基本計画案に対する意見」とし、本文中に住所・氏名を書いてください。計画改訂後(平成20年4月以降)、市ホームページで、ご意見と対応状況をお知らせします。

【説明会も開催】

一般廃棄物処理基本計画の案を説明します。
日時/10月12日(金)19:00~21:00
場所/市役所
申込/住所・氏名・電話番号を書いてファクス、Eメールまたは電話で。
 〒250-8555 小田原市環境政策課
 ☎33-1475 ㉷33-1487
 Eメール
 kansai@city.odawara.kanagawa.jp



自治会総連合会長 富川正秀さん

ごみ問題は、私たち市民一人一人の問題です。私一人くらいという気持ちを持たずに、ごみの分別を徹底してほしいと思います。まだどの地区でも、燃せるごみの中に紙類とトレー・プラスチック容器包装が多く混入しています。しっかり分別して決められた日に出すなど、市民全員でごみの分別を徹底し、ごみの減量とリサイクルに取り組みましょう。

活力あるまちづくりプロジェクト
～おだわらルネッサンス推進本部事業～



新しい城下町創造シンポジウム

世界に学ぶ

世界城下町サミットの開催を目指している
小田原。

昨年「城下町都市会議」に続き、新しい
城下町を考えるシンポジウムを開きます。

企画政策課 ☎33-1335 ㊟33-1286

城下町の特徴を生かして

城下町。それは、歴史と文化が香り、昔の人の生活が息づくまちなみ。

日本には、城下町が各地にあります。わがまち小田原も、震災などの影響で、その名残を感じさせる姿は少なくなっています。城下町としての歴史は今も生活に深く刻まれています。そして、それら城下町の特徴

と資産を地域のブランドとして生かしながら、都市基盤の整備やまちの活性化に取り組んでいます。

まずは、景観、まちなみから

古きよきものを残しながら、新しい事業を進めようには、多少なりとも困難が生じます。

昨年開催した「城下町都市会議」では、日本各地の城下町10都市が参加し、首長会議をはじめ基調講演などで交流を深めな

がら、これからのまちなみのあり方を考えました。どの都市も、さまざまな状況の中で課題を整理し、城下町がさらに光り輝くよう取り組んでいます。

ここでは、まず「景観」と「まちなみ」に焦点を当て、全国に先駆けて景観計画や屋外広告物条例を施行し、城下町らしい新旧の美しいまちなみづくりを目指しています。

国際的な視野に立つて

世界には、古城などの建築物が都市に自然と溶け込み、新しい物と古い物がお互い共存している城下町があります。ここでは、さまざまな建物が美しいまちなみを形づくり、住む人たちもまちに誇りを持ち、大切にしています。

さまざまな世界の城下町を知恵を学び、小田原ならではのまちづくりを生かしていくことも必要です。

そこで、今年は、新しい城下町小田原を創り出すために、国際的な視野に立つて、これからの景観や、まちなみのあり方などを考え、意見を交換するシンポジウムを開きます。

皆さんも新しい城下町について一緒に考えましょう。

【日時】11月10日(土)13:30～(開場13:00) 【場所】生涯学習センターけやき

【内容】●基調講演「世界に学ぶ新しい城下町づくり」(予定)

●パネルディスカッション「新しい城下町の景観とまちなみに求められるもの」(予定)

コーディネーター／大村謙二郎さん(筑波大学教授)

パネラー／野口聖さん(岸和田市長)、新井恵美子さん(エッセイスト)ほか

【定員】400人・先着順 【主催】小田原市、世界城下町サミット実行委員会

【申込】10月31日(木)まで(必着)に、住所・氏名・電話番号・「世界に学ぶ新しい城下町創造シンポジウム参加」と書いて、はがき、ファクス、Eメールまたは電話で。

〒250-8555 小田原市企画政策課おだわらルネッサンス推進班 ☎summit2007@city.odawara.kanagawa.jp

※託児(2歳から就学前児童)が必要な場合は、申し込みの際にお申し出ください。

※このシンポジウムは、キャンパスシティおだわら必修事業です。



曾我別所 寿獅子舞保存会

代表・川久保昌之 ☎420137

江戸時代から伝わる「囃子獅子舞」の系統で西湘地区では曾我別所だけの貴重な芸能です。
市指定無形民俗文化財



小田原囃子 多古保存会

代表・下田隆一 ☎342820

多古白山神社に伝わる江戸葛西囃子系の小田原囃子。文化交流が盛んだった江戸から伝わりました。
県指定無形民俗文化財
かながわ民俗芸能50選



相模人形芝居 下中座

代表・岸忠義 ☎430956

江戸時代、関西から人形遣いの一行が興行の途中に下中村に伝えたのがはじまり。
大阪の文楽と同じく3人遣いを特徴としています。
国指定重要無形民俗文化財



小田原ちようちん踊 保存会

代表・秋山定之 ☎74651

童謡「お祭のかごや」で知られる小田原ちようちんを守り広げるため考案された郷土芸能です。
小さな子どもでもすぐに踊れます。

伝えよう 郷土の芸能

民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

日時 10月14日(日) 開演13:00 (開場12:30)

場所 生涯学習センター(けやき)

郷土に生まれ、守り伝えられてきた民俗芸能。小田原にもさまざまな民俗芸能が息づいています。民俗芸能の後継者育成に取り組む小田原民俗芸能保存協会では、加盟する7団体が集まり、若手後継者や小・中学生が日ごろの練習成果を発表します。また、山王原大漁木遣唄が市指定文化財の指定を受けてから、発表会での初のおひろめとなります。ぜひ民俗芸能をお楽しみください。

☎文化財課 ☎33-1714

小田原民俗芸能保存協会実行委員会 ☎43-0956



根府川寺山神社 鹿島踊保存会

代表・宮川俊一 ☎290660

福おどりは根府川の道祖神祭で子どもたちが踊っていました。一時の中断を経て、小学5・6年生が1月14日のどんど焼きで踊っています。
県指定無形民俗文化財



小田原市山王原 大漁木遣唄保存会

代表・末弘勝 ☎340413

大漁木遣唄は相模湾の漁民に古くから歌われていました。漁業の仕事唄と、婚礼や神社祭礼の儀式唄を兼ね、全国的にも珍しいものです。
市指定無形民俗文化財



栢山 田植歌保存会

代表・日比野幸子 ☎364878

農家の女性たちが田植えの調子を取るために歌ったもの
です。
歌詞には農作業のようすや
鶴亀、豊作への祈りが込められて
います。

ほら、そこにも悪質商法!!

消費生活センターに寄せられるさまざまな相談の中から、気になるトラブルの例を紹介します。悪質商法の被害に遭わないためには、その傾向・手口を知ることが重要です。

◎西さがみ連邦共和国消費生活センター
相談専用ダイヤル ☎331777

例1

携帯電話から無料のアダルトサイトを開き、18歳以上をクリックしたら登録完了になった。無料であったにもかかわらず、3日以内に代金5万円を払えとの請求を受けた。

ご登録完了しました。
会費5万円を3日以内に〇〇銀行に入金してください。
期日までに入金がない場合は、延滞料と調査費を加算し自宅まで回収に伺います。



例2

パソコンに「ご使用中のパソコンより登録した総合情報サイトの退会処理が取られていない。放置すると身元を調査して料金の回収に向く。すぐに連絡しなさい」とのメールが届いた。

もしトラブルに遭ってしまったら

業者に連絡しない、払わない、そして、サイト名や請求金額などの画面をプリントアウトして保存し、すぐに消費生活センターへ相談を。

インターネットを利用するときは、利用するサイトの規約を事前に確認しましょう。有料サイトでは、規約や料金などを分かりやすく明示し、同意を求め確認画面があります。

特に、子どもは興味本位で有害サイトにアクセスしてしまうかもしれません。有害サイトから子どもを守るためのフィルタリングもありますので、検討しましょう。

※フィルタリング

インターネットのページを一定の基準で「表示してよいもの」「健全なサイト」と「表示禁止のもの」「出会い系サイトやアダルトサイトなど」に分け、子どもに見せないページにはアクセスできないようにする機能

◆悪質商法被害未然防止街頭キャンペーンを実施

10月13日①～19日②は、「かながわ消費者週間」。
消費者団体と行政が連携して、消費者被害の未然防止を呼びかけます。
日時 10月18日③16:30～17:00 場所 アークロード

◆10月から市民相談がマロニエでも

相続や離婚、借金の返済など、簡単な法律問題を面接相談できる市民相談室。
相談日時/毎月第1火曜日14:00～19:00(予約不要、無料)

西さがみ連邦共和国
消費生活センター
(市役所内)

相談日
月～金曜日(年末年始・
祝日、休日を除く)
相談時間
9:30～12:00
13:00～16:00

大募集

生活景を デザインしよう



◎政策総合研究所 ☎33-1405

市民の日常の暮らしが生み出す風景である「生活景」。政策総合研究所の今年度の研究テーマです。市内の公共物(水路、道路など)に少し手を加えることで、小田原らしい、生活感あふれる風景になると思われる場所を見つけて、その写真と整備アイデア案を送ってください。

研究所では寄せられたアイデアの実現に向けて取り組みます。

募集期間

10月1日(月)～11月30日(金)

テーマ

- 1 水路網の再生・景観の保全
 - 2 歴史遺産のポケットパーク化
 - 3 小田原らしい城下町景観の創造
- 〒250-8855
小田原市政策総合研究所



暮らしを支える 国民健康保険

国民健康保険とは

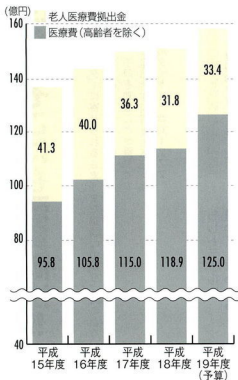
国民健康保険(国保)は、病気がやけがに備えて、健康なときから保険料を出し合い、相互扶助の精神で保険給付を行う社会保険制度です。市内の国保加入者は、全市民の約40パーセントに当たる7万7千人です。職場の健康保険に加入していないかた、農業・漁業など自営業のかた、退職して職場の健康保険を辞めたかたは必ず国民健康保険に加入してください。

財政状況は

医療の高度化や高齢化などにより、国保の負担する医療費は年々増えています。その額は、平成19年度では市全体で約158億5千万円の見込み。国保の運営は大変厳しい状況です。

この医療費は、保険料と国や県の支出金などで賄うため、医療費の増加は保険料の引き上げにつながります。しかし市では、加入者の皆さんの負担

老人を含んだ医療費の推移



をできるだけ少なくするよう、市税などの一般会計から国保へ前年度比4千5百万円増の16億3千5百万円を支出しています。国保は、皆さんの健康を守る大事な制度です。保険料の期限内納付と一人一人の健康管理、病気の早期発見、早期治療に努めましょう。

こんなときは届け出を

会社などを退職して国保に加入し、厚生年金や共済年金を受けているかたとその家族は「老人保健制度」が適用されるまで、「退職者医療制度」で医療を受けることとなります。

保険証と年金証書を持参し、市役所、支所、連絡所、マロニエ、いずみに届け出てください。

また、交通事故・けんか・食中毒・飼犬にかまれたなど、第三者(他人)から傷害を受けた場合は、速やかに保険証の発行元に届け出てください。後日、保険者が費用を加害者や保険会社に請求する場合があります。

なお、労働中の事故やけがなどの受診には国保は使えませんので、ご注意ください。

市長随想

”ときめき国際学校”
交換学生千人突破

— 豪マンリー市公式訪問記 —

文 小澤良明

八月初旬、数年ぶりに青少年交流友好都市オーストラリア・マンリー市を大野議長と共に公式訪問した。三泊だけの相変らずの駆け足訪問であったが、その大きな目的は平成3年以来始まった、”ときめき国際学校”の両市中・高校生連達の毎年数十名ずつに及ぶ相互訪問交流事業が第十七回にして延べ千人を超えた記念行事への参加と、これら国際交流の蓄積により豪州姉妹都市委員会からマ市と本市が特別表彰を受賞したことにある。数日前より既に訪豪し、ホームステイ中の二十名の生徒連と市庁舎前で早朝九時に合流。市議場にてビクター・マクドナルド市長、マ市姉妹都市委員長、長ジョアン・ソーバン女史等から歓迎スピーチ。市長からは一人一人に友好交流証を手渡された。私と議長からはそれぞれ千名突破という偉業達成への答礼か、栄誉影響受賞を期に両市の友好交流に一層拍車を、と訴えかけ、エールを交換し合った。その後生徒達はグループ毎にマ市職員に案内された窓口業務や海岸警備等、一日市職員体験に向った。私達は生ゴミをミミズによって堆肥化する有機処理

変わります

高齢者の医療保険

●保険課 ☎33 1843

神奈川県後期高齢者医療広域連合事務局
☎045.440.6704

高

齢のかたが安心して医療を受けられるよう、その費用の負担を減らし、国民全体で支え合う老人保健制度。75歳以上など、この制度の対象となるかたは、これまでの医療保険に加えて「老人保健法医療受給者証」が渡されています。

この老人保健制度が平成20年4月から、「後期高齢者医療制度」へと姿を変えることになりました。

新

たな制度が大きく変わる点は、運営主体が変わること。これまでの市に替わり、これからは「神奈川県後期高齢者医療広域連合」が運営することになります。

この広域連合は、県内の全市町村が協力・連携して設立した特別地方公共団体。安定的な制度とするため、身近な市町村ではなく、県単位で運営する



ことになったのです。

だからといって、市がまったく関与しないといふことはありません。広域連合では保険料の決定や医療の給付などを行い、保険料の徴収と窓口業務はこれまでどおり市町村が行います。不明な点やご相談は今までどおり、市の窓口へ連絡してください。

そ

して、もう一つの大きな変更点が、この制度の対象者は国民健康保険や健康保険などの加入者ではなくなること。これまで、老人保健の対象者は加入している医療保険に入ったままでした。

しかし、この新たな制度は独立した医療保険のため、年金から天引きするからで、一人一人が保険料を納めるようになるのです。扶養されていても、今まで保険料を払っていないかたも、保険料を納めることとなりますので、ご注意ください。



平

成20年4月1日時点で75歳以上のかたはその日から、それ以降に75歳になるかたは誕生日から、この制度の対象となります。広



域連合に保険料を納め、広域連合から発行される被保険者証を持って、診療を受けることになるのです。

なお、自己負担は、現行と同じ1割か3割で変更はありません。

※所得把握のため「簡易申告書」を送る場合があります。ご協力ください。

施設や道路補修、植栽、施設管理等現業部門の視察や希少動植物の生物環境学習の現場を訪れた。市民と直結した仕事にキメ細かな対応をして存在をアピールしている様子が手にとるよう感じられ好感を持った。

実のところ私にはもう一つの訪問目的があった。数年前の本市・蒙州リフレッシュユースティ事業等で大変お世話になった蒙在の日本人医師、井上博夫氏の突然の御逝去に哀悼の意を表す



の先生の温顔が想起され、少し落涙を禁じ既になかった。姉妹都市委員会の皆さんの変らない支援ぶりにはいつも目を見。感謝の念しきりである。"とときめきの卒業生達はかつてのホームステイ先の友人達と今でも親密な交流を続けていた。またそれぞれ社会人として国際的な幅広い活躍をしていたりする。"ときめき"が青年達の夢の実現の確固としたステップであり続けていることに大きな喜びと誇りを覚える。最後に本市実行委員会の皆さんや関係者に心からなる御礼を申し上げて筆を置く。

おだわらチャンネル

「おだわらの道」を選んでください
 ～まちなみが美しい街づくりプロジェクト～

建設政策課 ☎ 331533 0331565

市内には、自然や歴史、文化や生活のたまたまを、豊かに感じることのできる道がたくさんあります。

市では、それらの中から「おだわらの道」を選んで指定し、市民や地区の皆さんと連携して、地元のかたにとっても、訪れるかたにとっても魅力的な観光資源となるよう育てていきたいと考えています。

「おだわらの道」候補例

景観に優れ、文化や歴史、地域の人々の暮らしが感じられ、歩いて楽



しめるなど、徒歩30分～1時間程度の長さの道が候補です。

例えば、

- ① 佐奈田霊社・石橋山古戦場・根府川
- ② 早川・石垣山一夜城・入生田
- ③ ④ お堀通り・国道1号・かまぼこ通り
- ④ 大福荷神社・山手橋・谷津丘陵・小峰配水池
- ⑤ 城南中学校・伝筆寺・小田原文学館
- ⑥ 板橋の旧東海道・松永記念館・山月・古稀庵
- ⑦ 韮徳橋・富士遺橋(酒匂川右岸沿い)
- ⑧ 柏山神社・二宮尊徳生家・捨苗栽培地跡・仙了川沿い
- ⑨ 剣沢川・曾我梅林・城前寺

右の候補例から、またはそれ以外でもよいので、これと思う道一つと、その愛称などをご応募ください。

応募方法

11月30日(金)まで(必着)に、市役所や市内の公共施設にある応募用紙、または市ホームページからご応募ください。応募いただいた中から抽選で50人のかたに景品を贈ります。

http://www.city.odawara.kanagawa.jp

おだわらチャンネル

在宅ワーカーと求人企業との面談会
 ～活力あるまちづくりプロジェクト～

産業政策課 ☎ 331514

在宅での仕事を希望しているかたと、そのようなたを求めている企業とを引き合わせます。

参加希望のかたは、電話またはEメールで事前にお申し込みの上、当日、会場にお越しください。

日時 11月7日(水)
 12時30分～14時30分

場所 マロニエ

内容

参加企業は10数社(小田原箱根商工会議所会員企業)を予定しています。
 ※就業条件など面談の結果に、市は責任を負うものではありません。
 ※会場に託児室を用意します。(事前申込制)

おだわら情報

下中幼稚園に芝生の広場ができました

教育政策課 ☎ 331674

下中幼稚園の運動場の一部に芝生を張りました。

芝生には、子どもたちのけがの防止や暑さを和らげ、気持ちをいやすなど、さまざまな効果が期待されます。

今後は、幼稚園の先生や保護者の皆さんとも協力しながら、子どもたちのお気に入りの場所になれるよう芝生を育てていきます。

市立幼稚園では、これからも子どもたちの心と体、自然に配慮した優しい環境を提供していきます。



街かど博物館 ファンクラブ会員募集!

●街かど博物館館長連絡協議会事務局(産業政策課内)
☎3315119 ㊟331286

観光客や市民の皆さんが、古くから栄えた産業文化に直接触れられ、体験もできるよう、地場産業にかかわる工場や店舗などの協力で始まった「街かど博物館」。現在では、18館にもなりました。

市内外で人気の街かど博物館をさらに盛り立てようと、平成18年秋には、博物館を応援していただけるかと一体となった博物館づくりを進めていくため、「街かど博物館ファンクラブ」を立ち上げ、この1

年間で会員は100人を突破!約半数が県外を含めたほかの市町のかたということから、評判の高さがうかがえ、小田原に訪れた多くのかたが、楽しみながら街を散策している姿が目に見えます。会員の皆さんは、街かど



博物館のPRや、博物館で行っているイベントへ参加していただくなど、まさに博物館の強い味方。そして、このような会員のかたからの応援が、街かど博物館の店主にとって大変心強く、活力となっています。

秋風が心地よく、街歩きに最適なシーズンになってきました。皆さんもファンクラブに入ってください。一味違った楽しみ方を見つけてみませんか。対象 小学生以上で、街かど博物館に興味や関心のあるかた

会費

無料

申込

住所・氏名・電話番号・メールアドレス(あれば)を書いて、

直接、郵送、ファクスまたはEメールで。

〒250-8555

小田原市産業政策課内

街かど博物館館長連絡協議会事務局

Eメール

sangyo@city.odawara.

kanagawa.jp

【特典】

●街かど博物館のイベントのご案内

●会報「まちはく通信」のお届け

●博物館での買い物特典

箱根山は膨らんでいる?!

●温泉地学研究所 ☎33588

県西部地域を含む南関東地域は、

フィリピン海プレート運動という大きな力で、全域の地盤が北北西-南南東方向に少しずつ縮んでいます。例えば、GPS測量では、真鶴と山北との間は年間約5mm縮んでいます。しかし、このようなゆっくりとした縮みの中で、逆に膨らんでいる地域があります。それは箱根火山です。

箱根山は、火山の熱エネルギーを温泉や地震に形を変えて放出しています。最近5年間では年300回程度、人には感じない小さな地震が発生しています。ときには、これらを生かさない地震が短期間に集中して発生の、群発地震活動となることもあります。

群発地震の規模が大きくなる、傾斜計やGPS測量などの確認で、山の一部分が膨らむ山体膨張が観測されることがあります。この5年間では、2001年と2006年の地震活動の活性化に伴って、山体が約2cm膨張しました。

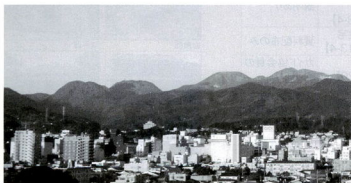
小田原・箱根地域での地震活動や地殻変動観測結果は、温泉地学研究所のホームページで、ほぼリアルタイムで見ることが出来ます。

特に、地震観測データは気象庁に送られ、火山の観測監視にも役立つ

ています。

これらの観測をもとに、必要に応じて気象庁から「火山観測情報」などが発表され、火山活動の状況をきめ細かくお知らせしています。

温泉地学研究所のホームページ
http://www.onken.odawara.
kanagawa.jp/



行政経営室 ☎331304

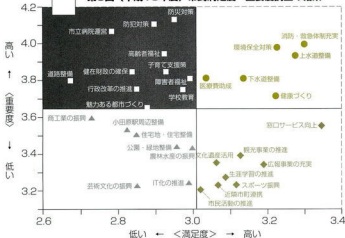
「市民が選ぶ予算の使い道」は、アンケート調査で市民の皆さんが選んだ事業分野に約1億円を重点配分する仕組みで、平成17年度の予算から実施しています。このための財源は、「ヒルト

ン小田原リゾート&スパ」の貸付収入の一部を活用しています。来年度の予算にもこの仕組みを使い、市民の皆さんの意思を予算に反映させます。そのため、昨年12月に実施し

た「第5回市民満足度・重要度調査」で重要度が高いにもかかわらず満足度が低かった9つの分野のうち、どの事業分野に予算を重点配分すべきか、約3,000人を対象にアンケート調査を行いました。

この種(重要度が高いにもかかわらず満足度が低い)の事業分野から、さらに予算を配分すべき分野を選んでいただきました。

第5回(平成18年度)市民満足度・重要度調査の結果



- アンケート結果は、次のとおりです(9月3日現在速報値)。
- 高齢者福祉の充実 20・1%
- 市立病院の運営 18・0%
- 防犯対策の推進 14・9%
- 防犯対策の充実 8・7%
- 子育て支援策の充実 8・3%
- 障害者福祉の充実 8・1%
- 学校教育の充実 7・8%
- 道路の整備 5・7%
- 魅力ある都市づくりの推進

「小田原ゆかりの優れた建造物」「国登録有形文化財」などふだんは見られない建造物を一般公開します。
※各建造物に駐車場はありません。

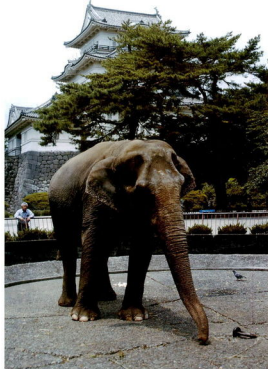
日時	指定の種類	名称【所在地】	備考
11月10日 10:00~15:00 川東地区	小田原ゆかりの優れた建造物	岩瀬邸 【鴨宮692】 諸戸邸 【国府津5-8-4】	ガイド協会の説明あり
	国登録有形文化財	長谷川家住宅 【国府津3-13-4】	資料配布のみ
11月11日 10:00~15:00 川西地区	小田原ゆかりの優れた建造物	静山荘 【南町3-1-20】	ガイド協会の説明あり
	その他	旧古稀庵庭園(あいおい保険小田原研修所) 【板橋827】	入園料100円 ガイド協会の説明あり
		皆春荘 【板橋852】	外観と庭園のみ見学可 ガイド協会の説明あり

イベント

文化財建造物 秋の観覧会



文化財課 ☎33-1717



城址公園のアイドル ウメ子

インドゾウのウメ子は1950（昭和25）年9月に推定年齢3歳でタイから来日し、9月29日に小田原へやって来ました。

「子どもたちに夢と希望を」と同年10月1日から開催された「小田原こども文化博覧会」をきっかけに来園したウメ子。当時、非常に珍しい動物だったゾウは、博覧会を通じて子どもたちの人気者になりました。それから57年、ウメ子は小田原城の下で元気に過ごし、還暦を迎えました。

「子どもたちに夢と希望を」と同年10月1日から開催された「小田原こども文化博覧会」をきっかけに来園したウメ子。当時、非常に珍しい動物だったゾウは、博覧会を通じて子どもたちの人気者になりました。それから57年、ウメ子は小田原城の下で元気に過ごし、還暦を迎えました。

これからもウメ子とともに

ゾウのころ、ウメ子の飼育を担当していた中島与平さん、そして現在の飼育員の末永孝人さん。お二人にウメ子の思い出を伺いました。

「ようやく落ち着いたと思っただけ、あつという間に還暦」としみじみと語る中島さん。博覧会のようにウメ子とともに小田原に来た中島さんの第一印象は、「ゾウなのに小さくてとってもかわいい」だったそうです。

「若いころは近づくと怖いという印象が強かった」という末永さん。ウメ子の食欲は今も昔

ウメ子の還暦を祝おう

57年前にやってきて、小田原のまちと歩みを共にしてきたゾウのウメ子。還暦を迎え、長寿を記念したイベントを開きます。

●観光課 ☎33-1523



末永さん(左)と中島さん(右)

も変わらないそうです。

二人とも、ウメ子にとっては父親のような存在。「子ゾウのときは、とにかくやんちゃ。お客さんによく水をかけたたりした

「ようやく落ち着いたと思っただけ、あつという間に還暦」としみじみと語る中島さん。博覧会のようにウメ子とともに小田原に来た中島さんの第一印象は、「ゾウなのに小さくてとってもかわいい」だったそうです。

「若いころは近づくと怖いという印象が強かった」という末永さん。ウメ子の食欲は今も昔

<ウメ子のデータ>

素因当時
【体長】約1m20cm 【体重】約450kg
平成19年9月現在
【体高】約2m30cm 【体長】約3m(鼻2m、尾1mを除く) 【体重】約3t

<国内の長寿のゾウ> (平成19年9月現在)

王子動物園(神戸市) 藤訪子(推定64歳)
井の頭自然文化園(武蔵野市) ハナ子(推定60歳)
小田原動物園(小田原市) ウメ子(推定60歳)

お祝いイベントを開催

ウメ子が来園したころの懐かしい写真や、皆さんから寄せられたお祝いメッセージを展示します。

また、果物など、ウメ子の好物で作ったパースデーケーキを贈るイベントも。皆さんでウメ子をお祝いしましょう。

■写真&メッセージ展示
日時 10月16日(水)25日(木)
9時~17時

■パースデーケーキの贈呈
場所 常盤木門
日時 10月20日(土)14時~
場所 小田原動物園

ウメ子へのお祝いメッセージ 募集中

動物園象舎前、小田原駅観光案内所、市役所総合案内、観光課、けやき、マロニエ、いすみ、こゆるぎ、梅の里センターにあるメッセージカードか、はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号と裏面にメッセージを書いて10月10日(水)まで(消印有効)に送ってください(動物園は締め切り後も可)。応募者には記念品を贈ります。あて先：〒250-8555 小田原市観光課
「ウメ子お祝いメッセージ」係



板橋の歴史を味わう

～近代小田原三茶人の足跡～

近現代の実業家、また茶人として大きな足跡を残した
益田鈍翁、野崎幻庵、松永耳庵ら「近代小田原三茶人」。
板橋には彼らの足跡が今も色濃く残されています。
秋の板橋で三茶人をしのび、歴史と潤いのある風景を楽しみませんか。
◎郷土文化館 ☎23-1377 ㊟23-0672

近代小田原三茶人

明治から昭和にかけて、小田原には著名な政財界人が数多く住んでいました。中でも鈍翁・益田孝（1848～1938）、幻庵・野崎広太（1857～1941）、耳庵・松永安左エ門（1875～1971）は茶人としても全国的に高名で、「近代小田原三茶人」と呼ばれています。

野崎幻庵生誕150年と茶室「葉雨庵」

野崎幻庵は備中（岡山県）に生まれ、三井物産への入社を皮切りに、中外商業新報社（今の日本経済新聞社）社長、三越の取締役を歴任しました。実業家として活躍する一方、益田鈍翁ら数多くの茶人とも交わり、当時の茶会のようなすを記した貴重な記録「茶会漫録」を残しました。幻庵は大正7年に三越を退任すると、南町に自怡荘と名つけた別荘を建て、昭和16年には亡くなるまで過ごしました。自怡荘には茶室「葉雨庵」のほかにも、療も作られ、自ら茶道具も焼いていました。

また、昭和12年8月に板橋にあった益田鈍翁の掃雲台で開かれた朝の茶会では、鈍翁らとともに明治・大正の茶会のようなすを、後に板橋に移り住むことになる松永耳庵に語っています。

この葉雨庵は、昭和61年、松永記念館の敷地内に移築され、茶会にも利用できる施設として一般に公開しています。平成12年には、国の登録有形文化財になりました。

「耳庵先生の園遊会でそばを出したのが縁で、大親愛しくしていただきました。今でも園遊会のような色紙を貰っていたんだと改めて思い出されます」と、松永耳庵の書「天上土下唯我独尊」ほか一点を手に寄贈した小宮義典さん（左）



今年の「板橋 秋の交流会」では、野崎幻庵の生誕150年を記念して、小田原評定衆の新井忠美子さんによるトーク席とミニ展示を行います。

板橋のたたずまいを舞台上に

このように、近代小田原三茶人のエピソードにたびたび登場する板橋。このまちには山縣有朋、大倉喜八郎といった政財界の要人のほか、長谷川如是閑、中河与一といった文人たちも住んでいました。今でも歴史のある寺社や古くからのたたずまいが残り、昨年度選定された「小田原ふるさとの原風景百選」にも東海道の街なみや小田原用水など、たくさんの方の風景が選ばれています。

この板橋の松永記念館とその周辺の寺社を舞台に、今年も「板橋 秋の交流会」夢見遊山いたばし」を開きます。

また、当日は松永記念館特別展「出土品が語る小田原の歴史「悠久の美」」も開いています。

この機会に、すてきなまち板橋で、歴史を感じてみませんか？



三井物産を国際的な総合商社に育てた男は板橋に3万坪の別荘を営んだ
益田 孝



ジャナリズムを育て上げた確かな目が明治・大正の茶会をも打ち出した
野崎 広太



老舗茶屋「茶」と向き合った電力王は、東京海濱西園路構想をも打ち出した
松永 安左エ門

板橋 秋の交流会プログラム

事前申し込み制

<11月10日(金)>

□板橋の寺で聞く日本の調べ

時間 18:00~19:30
場所 香林寺本堂
出演 小森高正(津軽三味線)
定員 80人
費用 1,500円(当日券は1,700円)

<11月11日(土)>

◎小田原・城下町大使、評定宗による

トーク席(当日券若干あり)
費用 各1,000円
11:30~12:30
●小和田哲男(静岡大学教授)
定員 40人
14:00~15:00
●今宮純(モータースポーツジャーナリスト)
定員 40人
●島田祐子(声楽家)
定員 40人
●新井恵美子(ノンフィクション作家)
定員 20人

□板橋俳句吟遊会

時間 10:00~13:30
内容 自由散策で2句投句、互選。
定員 40人
費用 1,000円(あじわい広場利用券付)

申込 10月31日迄までに、住所・氏名・電話番号・希望プログラム名・参加人数(2人分まで申し込み可)を書いて、電話、ファクスまたはEメールで。先着順。

Ex-mail

koryukai@city.odawara.kanagawa.jp
※複数のプログラムへの申し込みは可能ですが、同じ内容への重複した申し込みは無効です。

参加自由

「日本の歴史公園100選」にも選ばれた松永記念館の庭園を楽しみながら、お気軽にご参加ください。市ホームページもご覧ください。

<11月10日(金)>

□松永記念茶会(全6席)

時間 10:00~15:00
茶席券 1席400円(当日販売)

□板橋・竹燈籠の夕べと特別展ギャラリートーク

時間 17:00(点灯)~20:00ころ
場所 松永記念館庭園と香林寺参道

<11月11日(土)>

□老樺荘 美と美の出会い

小田原にゆかりがあり、国際的にも高い評価を受けている現代作家、画家の井上三綱さん、陶芸家の鈴木三成さんの作品を展示します。

□老樺荘で味わう耳庵ゆかりのはつ花そば(有料)

時間 11:00~(限定70食)

□庭園コンサート

「小田原で生まれた白秋の歌」
時間 11:00~、13:00~
出演 菊地貴子(ソプラノ歌手)

□松永記念館庭園呈茶席

時間 10:00~15:00
場所 烏葉亭ほか
呈茶券 300円

□近代小田原三茶人野崎幻庵をたずねて

□板橋散策ガイド(小田原ガイド協会)

時間 10:30~15:00

□小田原あじわい広場

(秋葉山量覚院境内)
城下町大使・鶴持恒男さんと日本エスコフィエ協会による秋の交流会名物「小田原ピヤベース」など、小田原にこだわった「食」が楽しめます。地元商店会による地元産品の販売もあります。また、街なかにぎわいプロジェクト実行委員会による、地元食材を使った逸品もあります。
時間 10:00~15:00
※ピヤベースは限定販売、500円。

□小田原あじわい公演

時間 11:00~12:30
場所 量覚院本堂
出演 相模人形芝居 下中座
(国指定重要無形民俗文化財)
演目 檜城阿波の鳴門巡礼歌の段
定員 80人
費用 1,000円(前売あり)

この事業は湘南鄙園文化祭に参加しています。
駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

秋のおもてなし~小田原食楽~ 参加者募集中

街なかにぎわいプロジェクト実行委員会(産業政策課内) ☎33-1519

「まちなかにぎわいを取り戻そう」を合い言葉に、市内の老舗料亭で食欲・芸術の秋にピッタリのすてきなゲストとの夕食を楽めます。秋風心地よい小田原の夜にぜひお出掛けください。

[日時・会場・ゲスト]

- ① 11月 9日(金)清風楼(料亭) 杉屋 響泉社中の長唄 ② 11月10日(土)澤亭(レストラン) 白井貴子さんのトーク
③ 11月11日(日)だるま(料亭) 柳家三三さんの落語 ④ 11月11日(日)大松(料亭) 岸朝子さんのトーク

[時間] 各回18:00~21:00

[参加費] 10,000円(食事代)

[定員] 各回とも30人程度



連載

学校自慢!

このコーナーでは、小・中学校でのユニークな取り組みを紹介します。子どもたちの生き生きとした表情を見ると、小田原の未来も安心、という気持ちになりますね。

●教育政策課 ☎33-1671

今月号は…

下府中小学校
(児童数：434人)「名人さん、おしえてね」
地域のお年寄りに学ぶ昔の遊び

大規模な商業地域と住宅街が広がる下府中小学区では、10年ほど前から地域のお年寄りのかたとの交流が盛んになっています。運動会への招待状や手作りカレンダーを送ったり、総合学習で老人会のかたと地域の清掃やゲートボールを行ったりしてきました。

特に、1年生の生活科の学習「昔の遊びを楽しもう」では、毎年延べ100人近くのかたと、たこ揚げやこま回し、羽根つき、竹馬など、「昔の遊びの名人」として指導を受けています。お正月の遊びが多いため毎年1月に学習していますが、寒い中、熱心に教えてもらい、子どもたちの歌声が冬の運動場に大きく響きます。学習後は、お茶を飲みながら、お年寄りのかたと同士の交流も楽しんでいます。

さらに、囲碁将棋クラブの指導や秋の「下府中祭」などの「先生」として、また毎日主要な交差点に立ち、児童の登下校の安全を守る「見守り隊」としてさまざまな場で力を借っています。

今年、市の夢育学校づくり推進事業で、防犯ボランティアによる見守りの場や、諸団体の会合の場となるコミュニティールームを整備・拡充できました。今以上に学校に気楽に立ち寄ってもらいための場として、幅広く自由に子どもたちと交流してお互いの元気を分かち合い、地域全体で子どもたちを温かく見守りはぐくめるよう願っています。

名人さんと羽根つきをしました。初めてだったので、なかなか真ん中に当たりませんでした。名人さんが「もう少し軽く打つといいなよ」と教えてくれたので、練習をいっぱいしました。最後には20回も続けて打てるようになりました。「すこいね、もう羽根つき名人になったね」と言われ、とてもうれしかったです。またいつか、一緒に羽根つきがしたいです。

**川原井 結子さん**
(2年生)

こま回しの名人さんに、回し方のコツを教してもらいました。「こまを投げたら、すぐひもを引く」というコツです。それを練習したら、私もできるようにになりました。すごうれしかったです。昔の遊びは楽しいな、と思いました。名人さん、ありがとうございます。また、これからはいろいろな遊びを教えてくださいたいです。

**守屋 杏奈さん**
(2年生)

おだわら

花通信

さまざまな花に彩られ、四季折々の表情を見せるおだわら。毎月、花の名所を紹介します。

7
2011

小田原フラワーガーデン

●フラワーガーデン ☎34-2814

秋も深まり、本格的に紅葉が楽しめる季節になりました。

秋に散歩をすど街のあちこちで見られる花の一つに、秋桜があります。キク科の仲間、夏から12月ごろまで咲くものもあります。栄養の少ない土地でも育つため、河原などで群生することもあります。もう一つは金木犀。モクセイ科の仲間、9月下旬から10月初旬は、その強い香りに街が包まれます。

気象条件にもよりますが、秋桜の群生を見るなら「早川一夜城きらめきガーデン」へ、フラワーガーデンではどちらの花も見られます。



■早川一夜城きらめきガーデン